

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2011-244873(P2011-244873A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-118186(P2010-118186)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 3 0 Z

A 6 1 B 6/08 3 0 0

A 6 1 B 6/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月18日(2011.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

この装置では、本体部100をブッキー台と呼ばれる検査用寝台の下に差し込み(例えば図3参照)、ブッキー台上に寝ている被検者に対して、例えば本体部100内のX線発生器から垂直上方に向けて、検出部120の長手方向に延びる矩形スリット状のX線ビームを照射し、透過したビームを本体部100(及び被検者)の上方に位置する検出部120で検出する。X線発生器と検出部120とをスリット面と垂直な方向に移動させることで、測定範囲内全域の測定を行うことができる。操作者は、例えばブッキー台の透明な天板を通して測定範囲の外周線112や中心線114を視認しつつ被検者を測定範囲に対して位置決めする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【特許文献1】特開2005-296499号公報

【特許文献2】特表2005-517487号公報

【特許文献3】特開2000-116636号公報

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】

